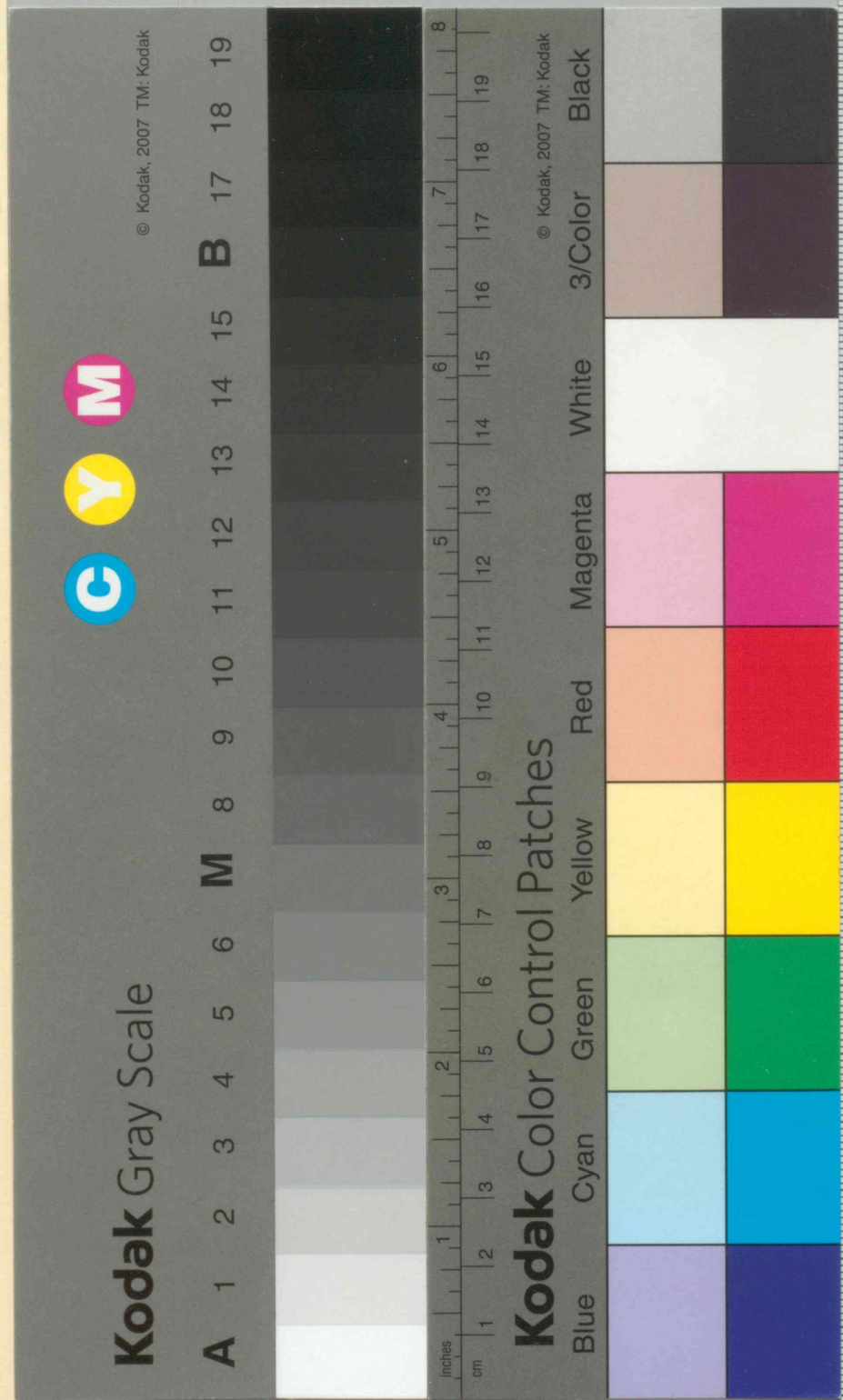


60118

教科書文庫

6
760
45-1950
01304 49618



中央図書館

昭和25年8月12日文部省検定済中学校音楽科用

# 中学音楽 1



教育芸術社

広島大学図書

0130449618



中学音楽  
第一学年  
目次

- |                                       |                                       |                                  |
|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. ハ長調・五線・音符・休符                       | 18. ローレライ<br>近藤 朔風詞<br>ジルヘル曲          | 38. まごころ<br>久野 静夫詞<br>キエツケン曲     |
| 2. 春のおどり<br>久野 静夫詞<br>モーツァルト曲         | 19. 和音 ローレライの伝説                       | 39. 大楽節の作例                       |
| 3. 四分の四拍子・創作                          | 20. 秋に寄せて<br>山崎 紀一郎詞<br>コンパース曲        | 40. ぼだい樹<br>近藤 朔風詞<br>シューベルト曲    |
| 4. A B C<br>モーツァルト曲                   | 21. ヘ長調<br>音楽史(2)ギリシア時代の音楽            | 41. 和音<br>創作                     |
| 5. 和音・創作                              | 22. 久しき昔<br>近藤 朔風詞<br>ペーレイ曲           | 44. 春のしらせ<br>北瀬 彰詞<br>メーソン曲      |
| 6. 遠足<br>福田 三枝夫詞<br>ドイツ民謡             | 23. 移調・創作                             | 45. ヘ長調の和音                       |
| 7. 音程練習・創作                            | 26. 故郷<br>北瀬 彰詞<br>ドイツ民謡              | 46. 春の小川<br>山崎 紀一郎詞<br>作曲者不詳     |
| 8. ゆりかごの歌<br>山崎 紀一郎詞<br>ヘイス曲          | 27. 和音の連結(1)<br>金管楽器                  | 47. 大楽節の作り方                      |
| 9. 八分音符と休符                            | 28. 旅愁<br>犬童 球溪詞<br>オードウェイ曲           | 48. こちょう<br>野口 耽介詞<br>モーツァルト曲    |
| 10. 荒城の月<br>土井 晩翠詞<br>滝廉太郎曲           | 29. 和音の連結(2)                          | 49. 二部合唱の練習                      |
| 11. 滝廉太郎略伝                            | 30. 海辺にて<br>久野 静夫詞<br>モーツァルト曲         | 50. カッコウ・ワルツ<br>野口 耽介詞<br>ヨナーソン曲 |
| 12. 花散る<br>久野 静夫詞<br>モーツァルト曲          | 31. 二部合唱の練習                           | 52. 木の葉<br>久野 静夫詞<br>ラモー曲        |
| 13. ト長調<br>音楽史(1)原始時代の音楽              | 32. 故郷の空<br>小学唱歌より<br>スコットランド民謡       | 54. 青葉の歌<br>野田シグミ詞<br>高木雅老曲      |
| 14. 子やぎ<br>久野 静夫詞<br>ノールウェー民謡         | 33. ト長調の和音表<br>弦楽器                    | 56. 森の鍛冶屋<br>久野 静夫詞<br>ベルギー曲     |
| 15. 長調と短調をくらべましょう<br>強弱と速度の記号<br>木管楽器 | 34. シューベルトの子守歌<br>久野 静夫作詞<br>シューベルト作曲 | 59. 打楽器<br>音楽史(3)ローマ時代の音楽        |
| 16. 故郷の廃家<br>犬童 球溪詞<br>ヘイス曲           | 35. シューベルトについて                        | 61. 音楽史(4)中世期の音楽                 |
| 17. 和音・音程練習                           | 36. 友情<br>野口 耽介詞<br>モーツァルト曲           |                                  |
|                                       | 37. 非和声音                              |                                  |

ハ長調の音階

音名 C D E F G A B C  
階名 ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

五線

下2間 下1間 1間 2間 3間 4間 上1間  
下1線 1線 2線 3線 4線 5線

ト音記号の書き方

結び目  
中心に  
ト音記号と終止記号の書き方を練習して下さい。

音符 附点音符 と 休符

全音符 1 — 2 — 3 — 4 —	附点二分音符 1 — 2 — 3 — 4	全休符 1 2 3 4
二分音符 1 — 2 — 3 — 4	附点四分音符 1 — 2 — 3 — 4	二分休符 1 2 3 4
四分音符 1 2 3 4	附点八分音符 1 ト 2 ト 3 ト 4 ト	四分休符 1 2 3 4
八分音符 1 ト 2 ト 3 ト 4 ト		八分休符 1 2 3 4

# 春のおどり

久野静夫 作詞  
モーツァルト 作曲

おどるように ♩ = 120

*mf*

ミムソラハカスミミヤマハミドルリ  
ニきぎにたはつワラーベミコヤマハミカドルク  
むむれたはつこわらべはこなろはちかうちよく

*mp*

ハナノカニウオハルノヒノベニ  
ランランランランウターウハルランランランオドール  
ひばりのこえはあおぞらたかど  
ランランランランうたーうランランランおどる

*mf*

シラベニアワセウタウヨオドル  
しらべにあわせうたうよおどる

注意 1 この曲では 階名ドレミでよむことに力を入れましょう。一小節目のドミソドの音程を  
しっかりおぼえることがたいせつです。2. 歌う前に 必ず 階名でよむようにしましょう。

春のおどり

一、み空はかすみ  
み山は緑  
花の香におう  
春の日野べに  
むれたつわらべ  
心は軽く  
歌うランランラン

二、木木には小鳥  
花にはちようちよう  
ひばりの声は  
青空高く  
むれたつわらべ  
心は軽く  
歌うランランラン

調べにあわせ  
歌うよおどる

## 四分の四拍子

$\frac{4}{4}$  (C) = = 一小節に4拍  
四分音符を一拍として  
四分音符(1拍) 四分休符(1拍休)

$\frac{4}{4}$  1 2 3 4 | 1 2 3 4 | 1 2 3-4

『春のおどり』のリズム

$\frac{4}{4}$  1-1-2 3 4 | 1 2 3-4

### 練習 音程とリズム

1 2 3 4 | 1 2 3 4 | 1 2 3 4 | 1 2 3 4

## 練習問題

\*四分音符を書き入れてから 歌ってごらんさい。

♩ = 104 ベートーベン 作曲

ミ ミ ファ ソ ソ ファ ミ レ ド ド レ ミ レ  
ミ ミ ファ ソ ソ ファ ミ レ ド ド レ ミ ド  
レ レ ミ ド レ ミ ド レ ミ レ ド レ  
ミ ファ ソ ソ ファ ミ レ ド ド レ ミ ド

# A B C

モーツァルト 作曲

♩ = 100

(注意3)

- 注意：1. 四分音符（1拍）と二分音符（2拍）のリズムを特にしっかりおぼえましょう。  
 2. リズムだけで、拍子をとって（音程をつけないで）練習しましょう。  
 3. Wはダブル・ユー（Double-u）二綴りで、はっきり歌いましょう。



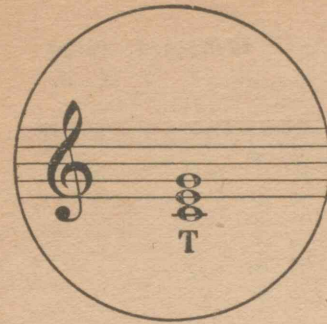
ギリシア時代の大リラ

## — 四分の二拍子 —

二分音符（2拍）

二分休符（2拍休）

$$\frac{2}{4} = \frac{\text{二分音符}}{\text{四分音符}} = \frac{\text{一小節に2拍}}{\text{四分音符を一拍として}}$$



## — 和 音 —

ソ  
ミ  
ド

の和音をききましょう。

\*下の譜によって、どういう音に、この和音がついているか調べてみましょう。

\*和音のついていない小節は、別の和音がつけられます。

この和音とメロディーとの関係を、まず、しっかりおぼえましょう。

## — 創 作 —

\*小節を区切ってから歌ってみましょう。

\*教師へ Tの和音を理論的でなく 直観的につかむように、上の譜を奏して和音をきかせる。

# 遠足

福田三岐夫 作詞  
ドイツ民謡

元気よく、♩ = 112

mf

ミドリハユルオカヲコエテハルカニミユルヤツマジョヨ  
ソラハハレテアシモカルクハタノシキキウノツドイヨ  
はるののべにひばりたかくはるかにききゆうのそびえよ  
そらははれてこころかるくはるかにききゆうのそびえよ

f mf

ユーケ ヨユケ ユケ ユケ イサトモヨ ヤマ  
ゆけ よゆけ ゆけ ゆけ いざと もよ のべ

f mf

ジコエテイバラフミテハルカニミユルカナタヘ  
をとおくかわをこえてはるかにとおきかなたへ

注意：1. この曲によって、四分音符と八分音符の正しい書き方を練習しましょう。  
2. 先生にドの音をひいていただいて、レ・ミ・ファツの音を、自由に出せるように練習しましょう。

遠足

一、緑はゆる 丘をこえて  
はるかに見ゆる  
山じよ  
空ははれて 足も軽く  
楽しききょうの  
つどいよ  
ゆけよ ゆけ ゆけ ゆけ  
いざ ともよ  
山路こえて  
いばらふみて  
はるかに見ゆる  
かなたへ

二、春の野辺に ひばり高く  
はるかにきこゆ  
その声  
空ははれて 心軽く  
楽しききょうの  
あそびよ  
ゆけよ ゆけ ゆけ ゆけ  
いざ ともよ  
野辺を遠く  
川をこえて  
はるかに遠き  
かなたへ

# —八分音符・弱起の曲—

## 練習 音程とリズム

1 2 + 3 4 + 1 2 + 3 4 + 1 2 + 3 4 + 1 2 + 3 4

- \* 「遠足」は、何拍目からはじまっていますか？
- \* この曲のように、一拍目からはじまらない曲を、弱起 といいます。
- \* 最後の小節は何拍ありますか？
- \* はじめと終りの小節が、いっしょになって完全な小節を作っています。  
はじめと終りの 小節の拍を 数えてごらん下さい。

## — 創作 —

- \* 自然に、そして美しいメロディーの断片を 書きましょう。
- \* ↓印の所へ、音符を書き入れなさい。そして歌ってごらん下さい。

\* 教師へ ↓印に適当な音を入れ、これをひいて生徒が書きとることもよい。このページまでは階名で歌うことに力を入れる。聴音によって、階名と音とをよく結びつける。

# ゆりかごの歌

山崎紀一郎 作詞  
ヘイス作曲

愛情をこめて ♩ = 96

一ア ワレヤユリカ ゴ オ サナキユメ ヨ  
二あ われやゆりか ご う るわしゆめよ

コ コロノフルサ ト カ ワラヌハハ ノ オモ  
は るかのふる さ と う れしやはは の こえ

シ スケキユウ ベ ノ ホ カゲノモト ニ  
と わにそのこ れ る ゆ たけきかお り

オ モイモツキ ヌ ハ ナ ツカシウタ ヨ  
な つかしうた ご え お もいでつき じ

注意：この曲では 階名ドレミでよむことに力を入れましょう。(歌詞11ページ)

## ＝ 八分音符と八分休符 ＝

♩ = ♩ + ♩    ♩ = 7 + 7

八分音符には ♩ と ♩ の二つの書き方があります。

八分音符のいろいろな書き方。

二間までは.....

三線より上は.....

下の符頭に符尾(|)と鉤(∟)をつけて八分音符にしてごらん下さい。

すんだら、四分音符二つの長さを単位として、小節に区切って下さい。

八分休符を書いてごらん下さい。

第三間に

□ を適当に用いて 八分音符にしてごらん下さい。すんだら、小節を区切って下さい。

## ＝ 練習問題 ＝

拍子 1 2 + 3 4    1 2 + 3 4    1 + 2 + 3 + 4 +    1 + 2 + 3 4

階名 ド ミドソ ソ ド ミドソ ソ ファミレドシドシド レドシラソ

上の例にならって 下の譜に拍子と階名を書入れてごらん下さい。

# 荒城の月

土井晩翠 作詞  
滝廉太郎 作曲

優雅に ♩ = 72

一ハ ル コ ウ ロ ウ ノ ハ ナ ノ エ ン  
二あ き し ん え い の し も の い ろ

メ グ ル サ カ ズ キ カ ゲ サ シ テ  
な き ゆ く か り の か ず み せ

ち ヨ ノ マ ツ ガ エ ワ ケ リ イ ソ デ シ  
う う る ま つ る き に て け り そ い し

ム カ シ ノ ヒ カ リ イ マ イ ズ コ  
む か し の ひ か り い ま い ズ

注意：この曲は短調です。長調と感じがちがいますが、どんなにちがうか比較してみましょう。

## 滝廉太郎略伝



滝廉太郎

滝廉太郎は明治12年(1879年)に生れ、大分縣竹田町に育ち、ここで小学校を卒業しました。後、明治31年20歳で今の東京音楽学校を卒業し、34年文部省の留学生としてドイツへ留学しましたが、不幸、病の爲修業半ばで帰国しました。そして明治36年わずか25才の若さでついに不帰の客となりました。

西洋音楽が新しく取り入れられた搖籃時代に生を受けた彼は、在來の日本音楽に新しい息吸を吹き込もうとつとめ、西洋音楽のリズミカルな面や、整った形式など、その他、いろいろの方面のよさと日本音楽の優美な品格とを巧みに融合させ、現在われわれに親しみ深い名曲を数多く残しています。

### ゆりかごの歌 (8ページ)

- 一、あわれや ゆりかご  
幼き夢よ  
心のふるさと  
かわらぬ母の面  
静けき夕べの  
ほかげのもとに  
思いもつきぬは  
なつかし 歌よ
- 二、あわれや ゆりかご  
うるわし夢よ  
はるかの ふるさと  
うれしや 母の声  
とわにぞ残れる  
豊けき香り  
なつかし 歌声  
思い出つきじ

### 荒城の月

- 一、春 高ろうの花のえん  
めぐるさかずき かげさして  
千代の松が枝 わけ出でし  
昔の光 いまいずこ
- 二、秋 じんえいの霜の色  
鳴きゆくかりの 数みせて  
うるるつるぎに てりそいし  
昔の光 いまいずこ
- 三、いま 荒城の夜半の月  
変らぬ光 たがためぞ  
かきに残るは たがから  
松に歌うは たがあらし
- 四、天上 かげは変らねど  
えいこはうつる 世のすがた  
写さんとか いまもなお  
あ、荒城の夜半の月

### 故郷の廢家 (16ページ)

- 一、いくとせ故郷  
來てみれば  
咲く花 鳴く鳥  
そよぐ風  
門辺の小川の  
さ、やきも  
慣れにし昔に  
変わらねど  
荒れたる わが家や  
住む人 絶えてなし
- 二、昔を語るか  
そよぐ風  
昔を写すか  
澄める水  
朝夕かたみに  
手をとりにて  
遊びし友人  
今いずこ  
さびしき 故郷や  
さびしき 我が家や



# 花 散 る

久野静夫 作詞  
モーツァルト 作曲

(二部輪唱)

おどるように ♩ = 120

1 *f* *mf* 2 *v* *p*

一・二・三 は な ひらひらひら ちる 一かぜに  
二ユキト  
三はるの

ま い て ひ ー ら ー ひ ー ら う た も た の し  
マ カ ウ ハ ー ナ ー ビ ー ラ ム ネ モ サ ヤ カ  
か ぜ に ひ ー ら ー ひ ー ら あ し も か る く

と も と ゆ く は な さ ー く ー の ー ベ  
ト モ ト ユ ク ハ ナ エ ー ム ー ヤ ー マ  
と も と ゆ く は な ち ー る ー お ー か

注意 1. ト長調の階名をしっかりとおぼえましょう。  
2. 四分の三拍子の曲では附点二分音符は何拍ですか?

四分の三拍子  $\frac{3}{4}$  = 一小節に三拍  
四分音符を一拍として

三、  
花 友 足 ひ 春 ち ひ 花  
ち と も ら の ち ら 花  
る ゆ 軽 風 ち ら  
丘 く ひ に ひら  
ひら

二、  
花 友 胸 花 雪 ち ひ 花  
笑 と も び と ま ち ら 花  
む ゆ さ ら と が ひら  
山 く や か う ひら  
ひら

一、  
花 友 歌 ひ 風 ち ひ 花  
咲 と も ら に ち ら 花  
く ゆ 楽 ひ 舞 ち ら  
野 く し ひ いて ひら  
辺 べ ひら  
ひら

## ト長調

変位記号

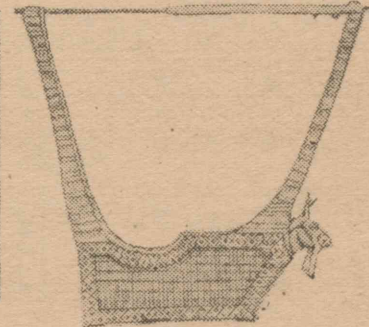
♯ = シャープ  
半音高くする



紀元前三千年ごろの  
スメル人遺物



スメル人の都ウルからの  
発掘物



黄金でモザイクしてある堅琴



紀元前千七百年ごろの  
エジプト王の墓の壁にある浮彫

### (音楽史 I) 原始時代の音楽

音楽の起源・原始民族がどのような音楽をもっていたかは、かれらの残した彫刻や発掘物を 調査研究することによって明らかになるのですが、現在では 紀元前四千年ごろ西南アジアのスメル人の遺蹟から出てきたものが、最も古いとされています。

楽器・これらの発掘物をみますと、当時すでに 現在の 管、弦、打、三種属の楽器をもっていたことがわかります。

声楽と記譜法・一方、これら いろいろの楽器が作り出される前に、歌をもっていたことでしょうが、楽譜や記録がないために、どのような歌が歌われたか、わかりません。どのような時に音楽を用いたかは、浮彫にみられるように 凱旋の行進や 収穫等の祭、および、舞踊の時に用い、音楽だけが独立して行われたことはなかったと思われます。

何しろ今から四千年以上も前のことでもあり、その上 遺物や記録が少ないために、だれがりつばな音楽家であったかわかりません。しかし、おそらく、きまつた音楽というものが少く、その時、その時の気分で即興的に歌い出し、口伝えされたものが歌われていたものと思われます。

このスメル人の文化は、次第にエジプト その他西の方の人々にうつっていきました。

# 子やぎ

久野静夫 作詞  
ノールウェー 民謡

はずんで ♩ = 60

一 ヒロイ ノハラ ミドリ ノノハラ  
ニしろい くもが なか れる そらに

アサツユ キラキ  
こ と り は た の し く

ハルノノニコヤギナクコエタカラカ  
う たう は る こ や ぎ な く こ え う れ し く

注意：この曲は短調です。長調と感じがちがいますが、最初と終の音を長調とくらべてごらんさい。

rit. . . . . a tempo  
リタルダンドー アテンポ  
しだいに遅く (rit.の後に) もとの速さにかえる

フェルマータ  
延長記号

子やぎ  
一、広い野原  
緑の野原  
朝つゆ  
さらさら  
春の野に  
子やぎ  
なく声  
たからか  
二、白い雲が  
流れる空に  
小鳥は  
楽しく  
歌う春  
子やぎ  
なく声  
うれしく

## —— 長調と短調をくらべましょう ——

ハ長調  
イ短調  
ト長調  
ホ短調

## —— 強弱と速度の記号 ——

ff. — f — mf — mp — p — pp

フォルテ                      mezzoフォルテ                      mezzoピアノ                      ピアノ  
強く                              やゝ強く                              やゝ弱く                              弱く

—— cresc. = クレシェンド      dim. = デイミヌエンド

## 木管楽器について

日本では 笛、尺八 等の竹管の楽器があります。独特の音色をもっています。洋楽器にはいろいろ精巧な、科学的に研究された木管楽器がたくさんあります。下の図は、現在、オーケストラに使われている主な木管楽器です。

フルート      クラリネット      バスーン      イングリッシュホルン      オーボエ



# 故郷の廃家

犬童球溪 作詞  
ヘイス 作曲

おもいをこめて ♩ = 96

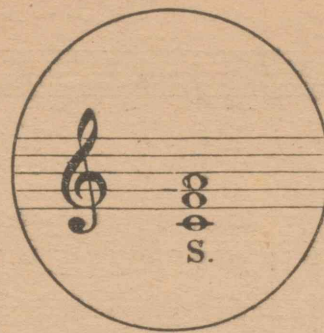
— イ ク ト セ フ ル サ ト キ テ ミ レ バ サ ク ハ ナ ナ ク ト リ  
ニ ム カ シ を カ タ ル カ ソ ヨ グ カ セ ム カ シ を ウ ツ ス カ

ソ ヨ グ カ ゼ ツ カ ド ベ ノ オ ガ ワ ノ サ サ ヤ キ モ テ  
す め る み す あ さ ゆ う か た み に て を と り て

ナ レ ニ シ ム カ シ ニ カ ワ ラ ネ ド ア レ タ ル  
あ そ び し と も び と い ま い ず こ さ び し き

ワ ガ イ エ ヤ ス ム ヒ ト タ エ テ ナ シ ヤ  
ふ る さ と や さ び し き わ か い え や

注意:  $\frac{4}{4}$  1-1-2 1-3 4 附点四分音符をしっかりとおぼえましょう。(歌詞11ページ)



## 和音

ラ  
フ  
ド  
の和音をききましょう。

\*下の譜で、どういう音にこの和音がついているか、研究してごらん下さい。

\* ソ  
ミ  
ド の和音をつけられたら、上の譜へ書き入れてごらん下さい。

## 練習 音程とリズム

# ローレライ

近藤朔風 作詞  
ジルヘル 作曲

そほくに  $\text{♩} = 56$

一 ナ ジ カ ハ シ ー ラ ネ ド コ コ ロ ワ ー ビ テ ー ム  
ニ う る わ し お ー と ね の い わ に た ー ち て ー こ  
三 コ キ ユ ク フ ー ナ ビ ト ウ タ ニ ア コ ガ レ ー い

カ シ ノ ツ ー タ エ ハ リ ソ ゾ ロ ミ ニ シ ム ー ワ  
か ね の く ー し と ハ リ か み の み だ れ を ー と  
ワ ネ モ ミ ー ヤ ラ テ ア ゲ バ ヤ ー カ テ ー ナ

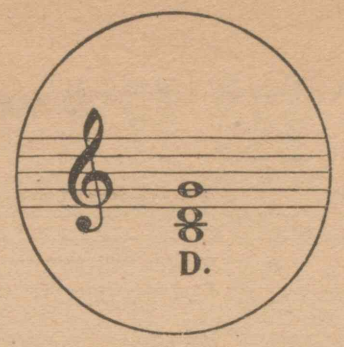
ビ シ ク ク ー レ ユ ク ラ イ ノ ナ ー ガ レ ー イ  
き ツ つ く ち ズ ム ぶ う た の こ ー え の ー あ  
ミ マ ニ シ ー ズ ム ル ヒ ト モ フ ー ネ モ ー ク

リ ヒ ニ ヤ ー マ ヤ ー マ ア カ ク ハ ー ユ ル ー  
や し き ち ー か ら ー に た ま も ま ー よ う ー  
ス シ キ マ ー ガ ウ ー タ ウ タ ウ ロ ー レ ライ ー

注意  $\frac{6}{8}$  拍子の典型的な形ですから、特に  $\frac{6}{8}$  拍子をよくおぼえましょう。

1-チ-ト 2 イト 1-チ-ト 2 イト 1-チ-ト 2 イト

(歌詞24ページ)



## 和音

ソレシ の和音をききましょう。

\*下の譜は「ローレライ」の三・四段めに、この和音をつけたものです。

\*「ローレライ」の中のどの音に この和音がついているか、研究してごらん下さい。

### ローレライの伝説について



中欧第一の大河、延々1300 kmのライン。このライン河の中流、ドイツの国に入つてまもなく、右岸にそり立つ豪壯な、そして岩肌のごつごつした奇岸が見えます。河水はとうとうと流れて底知れの淵を作り、魔物の口のような無気味な渦巻さえ見えます。これが有名なローレライの岩です。日本にも「あそこは魔の淵だから 行つてはいけませんよ。あそこへ行くと河童が出て来て 知らない間に生血を吸い取ってしまうんだよ。」というような話や、「あの池には主がいて まん中へ出て釣てもしようものなら、その池の主が怒つて 舟もろとも池の底へまきこんでしまうよ。」など言うような伝説があります。

この「ローレライ」の歌も、やはり私たちの知っているような魔の淵のお話なのです。

歌詞をよく読んでみますと、自然に、この物語がわかります。

ローレライ (ヤコフ筆)

# 秋に寄せて

山崎紀一郎 作詞  
コンバース 作曲

感情をこめて ♩ = 112

mf

一 ス ミユクミソ ラ ニ オ チユクユウ ヒ  
ニ さ えゆくみそ ら に ま たたくほしよ

ク レナイモエタ ツ ク モマニタカク  
ヤ まのはちかく に つ きかけさして

mp f

ネ グラヲサシ ユ ク ナ シラヌトリ ノ  
く さのねふか く も な しらぬむしの

mf

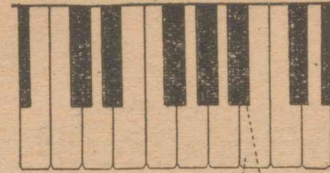
ナ キユクコエ コ ソ オ トズルアキ カ  
そ のねもあわれ や お とずるあきよ

注意：へ長調の階名をしっかりとぼえましょう。

(歌詞24ページ)

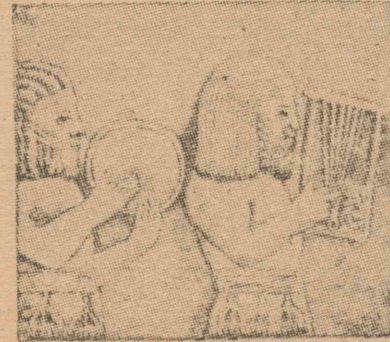
# ＝へ長調＝

変位記号  
♭ = フラット  
半音低くする



中央ハ  
ハニホヘ  
ドレミファソラシド

へ長調



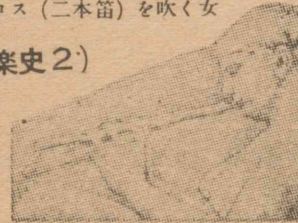
紀元前800年ごろのバビロンの楽人



ギリシア時代のハープ キタラ リラ を奏する女たち

アウロス (二本笛) を吹く女

(音楽史2)



## ギリシア時代の音楽

スメル人の文化は、エジプト・アッシリア・バビロニア等へも深い影響を与えました。そして この近東諸民族によって生み出された東方文化を、ギリシア人がはじめて西洋に移しました。

**楽器**・ギリシア人は 東方からアウロス、リラ、キタラ等の楽器をとり入れました。これらの楽器の演奏も非常にじょうずになって、アリオンという、キタラの名手は 敵の手にかかって海に投ぜられて危いところを、キタラの名技によって海豚を感動させ、その背に乗って 助かったという神話や、アンフィオンのリラは 岩をも感動させたという話も残っています。

**音楽と記譜法**・現在、当時の詩や楽譜の断片が残っていますが、それらの歌や音楽は単純なもので、単旋律か、せいぜいオクターブの合唱ぐらいで行われたようです。また、哲人プラトーなどは「楽器が、歌や舞踊とはなれて 器楽曲として演奏されることは 非文明的である。」とさえ、いつていますが、このような考え方がギリシア人一般の音楽に対する気持だったのでしょうか。オリムピア祭には音楽の競技会を持ちながら 音楽よりも、音そのものの科学的研究の方が進んでいました。

**音楽理論**・音楽の科学的研究がなされたことは、ギリシア人が非常に知的な民族であったことを物語りますが、いろいろな研究の中で、旋律を作る音階法(旋法)についての研究は、現代の音階論の基礎を作りました。もう一つは記譜法で、ギリシア文字を用いた複雑な記号から、ノイマ譜という方法を案出しました。現在その正確なほん訳はむづかしいのですが、当時 とにかく音楽が、だれにでもわかるように、統一された記号を考え出したことは、意義ふかいことです。

# 久しき昔

近藤朔風 作詞  
ペーレイ 作曲

あかるく ♩ = 112

一カ タレメ デシ マ ゴコロ ヒ サシキ ム カシノ  
二あ いしこ みち わ すれじ ひ さしき む かの  
三イ ヨヨモ ユル ナ サケヤ ヒ サシキ ム カシノ

ウ タエユ カシ シ ラベヲ ヒ サシム カシ ノ  
と わのま こと つ げたる ひ さしむ かの  
カ タルオ モハ ユ カシヤ ヒ サシム カシ ノ

ナ レハカ エル アア ウレシ ナ ガキワ カレ アア ユメカ  
え みをた たう そ のほお か たるこ とば う れしく  
ナ ガクナ レト ワ カレテ イ ヨヨシ リヌ マ ココロ

メ ズルオ モイ カ ワラズ ヒ サシイ マー モ  
む ねにの こる そ のこえ ひ さしい まー も  
ト モニア ラナ タ ノシヤ ヒ サシイ マー モ

注意：この曲は ♩ のリズムをくりかえしていますから、特にこのリズムをしっかりおぼえ  
ましょう。

(歌詞24ページ)

## — 移 調 —

\*メロディーを そのまま、異なった調子に移すことを 移調といいます。

ド ド ソ ソ ラ ラ ソ フェ フェ ミ ミ レ レ ド  
上のメロディーをト長調に移調すると……

練習 「久しき昔」を ハ長調に移調してごらんください。

練習 音程とリズム

## — 創 作 —

\*↓印の所に音を入れて、美しいメロディーにしてみましょう。

\*書いたら 歌ってごらんください。

\*教師へ 創作と同時に 聴音を同じような例とする。

「楽譜の発達」

*Viderunt omnes*  
9世紀ごろ

*Viderunt omnes*  
10世紀ごろ

*Popule meae*  
11世紀ごろ

*Viderunt omnes*  
12-3世紀ごろ

ローレライ (18ページ)

一、なじかは知らねど 心わびて  
昔のつたえは そぞろ身にしむ  
わびしく暮れ行く ラインの流れ  
入日に山山 あかく映ゆる

二、うるわし少女の いわに立ちて  
黄金のくしとり 髪のみだれを  
ときつつ口ずさぶ 歌の声を  
あやしき力に 魂もまよう

三、こぎ行く舟人 歌にあこがれ  
岩根も見やらで 仰げばやがて  
浪間に沈むる 人も舟も  
奇しき魔が歌 うたうローレライ

秋に寄せて (20ページ)

一、すみゆくみ空に  
落ちゆく夕日  
紅燃えたつ  
雲間に高く  
ねぐらをさしゆく  
名知らぬ鳥の 鳴きゆく声こそ  
おとずる秋か

二、さえゆくみ空に  
またたく星よ  
山の端近くに  
月影さして  
草の根ふかくも  
名知らぬ虫の  
その音もあわれや  
おとずる秋よ

一、語れめてし真心  
歌えゆかし調べを  
なれば 帰る  
ながき別れ  
めずる思い変わらず

二、会いしこみち忘れじ  
とわのまことつげたる  
えみをたたうそのほお  
語ることばうれしく  
むねに残るその声

久しき昔の  
久し 昔の  
あ、うれし  
あ、夢か  
久し 今も  
久しき昔の  
久し 昔の  
久し 昔の  
いよ、知りぬ真心  
ともにあらな樂しや  
久し 今も

*Viderunt omnes*  
14世紀ごろ

パレストリーナの楽譜

故郷 (26ページ)

一、故郷 とおくはなれ  
はや 幾年  
なつかしの 野山の花  
いかにや  
別れし友の まぶたに浮かぶ  
そのほおえみ  
ああ ふるさとよ  
ああ ふるさとよ  
ああ ふるさとよ  
わが ふるさと

二、故郷 幼なき日の  
夢の思い出  
手を取り たわむれ  
楽しきかの日  
せせらぐ小川 ささやく森よ  
野辺にさく花  
ああ ふるさとよ  
ああ ふるさとよ  
わが ふるさと

旅愁 (28ページ)

一、更け行く秋の夜 旅の空の  
わびしき思いに ひとりなやむ  
恋いしや故郷 なつかし父母よ  
夢路にたどるは 故郷の家路  
更け行く秋の夜 旅の空の  
わびしき思いに ひとり悩む

二、窓うつあらしに 夢もやぶれ  
はるけきかなたに 心まよう  
恋しや故郷 なつかし父母よ  
思いに浮かぶは 森の木ずえ  
窓うつあらしに 夢もやぶれ  
はるけきかなたに 心まよう

一、さえたる空  
雲はひとつ  
沖のかもめの  
波に浮かぶ  
白帆三つ四つ  
島にかかり  
いそのかおりの  
浜にただよう

二、かなたの島  
月ばかり  
名知らぬ鳥  
声はさびし  
草にふし さく  
波の音よ  
寄せてかえすは  
つきの思い出

# 故郷

北瀬彰作詞  
ドイツ民謡

優美に ♩ = 96  
mp

フルサトトオクハナレハヤイクトセ  
ふるさととおさなきゆめのおもいで

ナツカシノノヤマノハナイカニヤ  
てをとりにたわむれたのしきかのひ

ワカレントモノマフタニウカブソノホオエミ  
せせらぐおがわ ささやくもりよのべにさくはな

pp mf vf  
アフルサトヨ アフルサトヨ ワーガフルサート  
あふるさとよ あふるさとよ わーがふるさと

注意：この曲で八分音符のリズムを、しっかりおぼえましょう。

(歌詞25ページ)

## 和音の連結

(1)

T. S. T. T. D. T.

T-S-Dの和音の連結

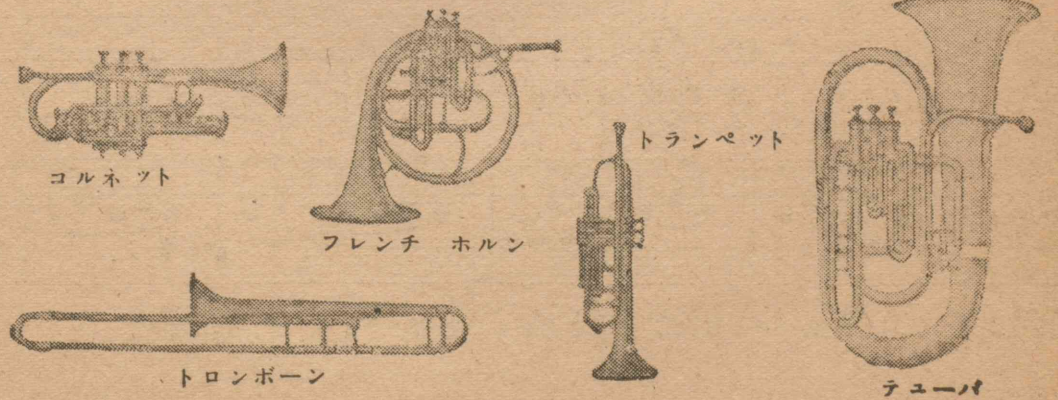
\*前曲の三段めに和音をつけて T-S-Tの和音を使ってみましょう。

\*T-D-Tの和音の連結

\*前曲の四段目に和音をつけて T-D-Tの和音を使ってみましょう。

## 金管楽器について

木管楽器はやわらかな音色をもったものが多いのですが、金管楽器は音量も豊富で、力強く  
狩の角笛、野外の信号ラッパ等から発達して、下のような精巧な楽器が作られました。



トロンボーン

テューバ



# 旅 愁

大童球溪 作詞  
オードウェイ 作曲

こころをこめて ♩ = 96

mf

一フ ケユク ア キノヨ タ ビノソ ラーノ  
ニま どうつ あ らしに ゆ めもや ぶーれ

mf

ワ ビシキ オ モイニ ヒ トリナ ヤム  
は るけき か なたに こ ころま よ

Fine.

f

コ イシヤ フ ルサト ナツカシチハハ ヨ  
こ いしや ふ るさと なつかしちちはは よ

mf

ユ メジニ タ ドルハ サ トノイ エジ  
お もいに う かぶは も りのこ ずえ

D.C.

注意： D.C. とFine …… D.C. のところからはじめにかえり、Fine で終る。

(歌詞25ページ)

## 和音の連結 (2)

\*和音…T.S.D…の連結をおぼえましょう。

\*下の和音を歌ってごらんないさい。

T S T D T

\*三つの音を使って「旅愁」に音をつけてみましょう。

T S T T D

T S T D T

S S S T D

T S T D T

\*空白の部分に指示した和音を入れ できあがったら この和音で、三部合唱のハンミング  
伴唱をつけて「旅愁」を歌ってごらんないさい。

# 海 辺 に て

久野静夫 作詞  
モーツァルト 作曲

しずかに  $\text{♩} = 56$   
*p*

一サ エ 一タ ル ソ ラ ク モ ハ ヒ ー ト ツ 一 オ  
ニカ な 一た の し ま つ き は か ー か り 一 な

キ ノ カ モ メ ノ ナ ミ ニ ウ ー カ フ 一 シ  
し ー ら め と り こ え は さ ー び し 一 く

*mp* *mf*

ラ ホ ミ ー ツ ヨ キ ツ シ マ ー ニ カ ー カ リ 一 イ  
さ に ふ ー し き く な み ー の お ー と よ 一 よ

ソ ノ カ オ リ ノ ハ マ ー ニ タ ダ ヨ ウ ニ  
せ て か え す は っ き ー ぬ お も い で

注意：臨時記号#の音程をしっかりとおぼえましょう。

(歌詞25ページ)

## 二部合唱の練習

(三度と六度の音程)

長三度 長3度  
全音

長六度 半音 長6度

短三度 半音 短3度

短六度 半音 短6度

### 練習 二部合唱

### 海 辺 に て

(二部合唱用)

モーツァルト 作曲

# 故郷の空

小学唱歌より  
スコットランド民謡

♩ = 96  
mp

ニ ユ ウ ゾ ラ ハ レ テ ア キ カ ゼ フ キ  
ニ ヨ ウ ミ ヅ ム ク ミ ゼ ニ ア キ カ ハ ゼ フ キ

mp

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

mf

ツ キ カ ゲ オ チ テ ス ズ ム シ ナ ク オ モ エ バ ト オ シ コ  
た ま な す つ ゆ は す す き に み つ お も え ば に た り こ

mf

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

p

キ ヨ ウ ノ ソ ラ ア ア ワ ガ チ チ ハ ハ イ カ ニ オ ワ ス  
き よ う の の ベ あ あ わ が は ら か ら た れ と あ そ ぶ

p

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

注意：1. ラで伴奏風にしっかりリズムをきざんで歌いましょう。2. この三部合唱がどんな和音

でできているか研究しましょう。

故郷の空

一、夕空はれて 秋風ふき  
月影おちて すゝむしなく  
思えば遠し 故郷の空

あゝ わが父母  
いかにおわす

二、すみ行く水に 秋はぎたれ  
玉なすつゆは すゝきに満つ  
思えば似たり 故郷の野辺

あゝ わが兄弟  
たれとあそぶ

## ト長調の和音表

### 練習 音程とリズム

## 弦楽器

ピアノと並んで、バイオリン系の楽器は 現在最もよく使用されています。  
琴、三味線等も弦楽器の一種です。



# シューベルトの子守歌

久野静夫 作詞  
シューベルト 作曲

愛らしく ♩ = 48

ハミング

ニムレ ネムレ ユラユラ ユラ ヌムレ ネムレ ユリカーゴ  
ニねむれ ねむれ ゆらゆら ゆら ねむれ ねむれ ゆりかーご

ニ コロ ヨーイ ウーター ゴエ ユメ  
に ばらの はな かおる その ほお

ミール ハナゾーノー ニ  
あかく えみたーたー え

(歌詞 42 ページ)

## シューベルトについて

シューベルトのお父さんはウィーンのリセナンタルで小学校の校長をしていました。シューベルトは音楽の先生がびっくりするほど早く上達してしまいました。小さい時は唱歌隊にはいていましたが、Boy Soprano のきれいな声でじょうずに歌ったそうです。18歳のころにはすでに傑作「魔王」その他多くの歌曲や交響曲を作っていました。シューベルトはいつも貧乏でしたが、そんなことは少しも苦痛ではありませんでした。ただ五線紙のないのが一番のなやみでした。しかし かれの周囲には かれを尊敬する人々の温かい友情がありました。しばらくの間お父さんの学校で教師をしていましたがその多忙な間にも次々と作曲をし\*



\*ていきました。シューベルトは歌謡の王とたたえられていますが、603ものりっぱな曲を残しています。シューベルトはベートーベンをたいへん尊敬していましたが、かれのゆいごんには ベートーベンの墓の横に葬ってくれるように書いてありました。ゆいごん通り かれのお墓はベートーベン と並んであります。シューベルトの歌曲の中には三つの歌曲集があります。

- 1,.....美しい水車場の娘
  - 2,.....冬の旅
  - 3,.....白鳥の歌
- その他歌曲集として出さなかったものの中にも「のばら」「アベ・マリア」「死とあとめ」「魔王」「糸を繰るグレンツェン」等があります。

## シューベルトの未完成交響曲について

この交響曲に限って どうして未完成などというのでしょうか。それはこうなのです。この曲はシューベルトが死んでから発見され、死後 37年めにはじめて演奏されたのです。交響曲は通常四つの楽章からなりたっているのですが、この曲はどうしたのか はじめの二つの楽章しか作られていませんでした。(三楽章はピアノの譜のスケッチが 僅かだけ作られてはいたが)それで未完成という名がつけられたのです。シューベルトはこれを第八交響曲と名づけていました。交響曲のような大きな形式をもつ楽曲でも やはり絵や建築と同じように 統一と変化がたいせつなのです。この統一のためにいくつかの主題がさめられます。この主題が互に美しい対比を示し、いろいろ発展変化して 一つの大きな曲を形づくっているわけです。それでは第一楽章からさいてみましょう。

第一楽章 第一主題 ずいぶん低い音で しずんだ感じです。

Allegro Moderato

第二主題 わりあい低い音ですが、こんどはだいぶ、うさうさした気持です。

Allegro Moderato

この二つの主題があいついであらわれ(提示部) 次々といろいろな形や調子に変わり(展開部) もう一度始めの形にもどって(再現部) 第一楽章は終わります。

第二楽章 第一主題 静かなすみきった感じです。第二主題 不安なリズムのゆれうごく中に 浮き上っている、ものかないメロディー

Andante con moto

Andante con moto

第一主題 と 第二主題(副主題)とが 二回ずつ現われて A・B + A・Bとなり、それに静かな結尾(第一主題を含んだ)にはいて 曲は終わります。

# 友情

野口 聡介 作詞  
モーツァルト 作曲

あかるく ♩ = 112

一 ミ ド リ ノ イ エ ニ マ ナ ビ ハ ゲ ミ  
二 ま こ と の み ち を す す む わ れ ら  
三 マ ナ ビ ノ ニ ワ ニ ハ ゲ ム ワ レ ラ

ト モ ド モ ア ソ ビ テ タ ノ シ ヤ キ ウ モ  
う れ い か わ か ち ち て よ ろ こ び と ヒ も に  
ア ケ ユ ク キ ボ ウ ラ コ コ ニ ヒ メ テ

練習 右のページをよくしらべて、この歌のメロディーの部分の非和声音を  
見つけてごらんください。

友情

一、緑の家に  
学び 励み  
ともども遊びて  
楽しやきようも

二、まことの道を  
すすむ われら  
うれしいを分かちて  
よろこびともに

三、学びの庭に  
励む われら  
明けゆく希望を  
心にひめて

## 非和声音

\*第一小節めはTの和音です。

\*メロディーはソラソミです。ソとミはTの音ですが、ラの音は、  
Tの和音以外の音です。同じように×印の音は和音以外の音です。  
これを非和声音といいます。いろいろのメロディーに和音をつけ  
る時に非和声音が多く現われています。

The score shows the melody and accompaniment with harmonic analysis. Chords are labeled T (Triad), S (Suspension), and D (Dissonance). Non-harmonic notes are marked with 'x'.

\*上の和音の譜を、ハミング伴唱で歌ってごらんください。

まごころ

久野静夫 作詞  
キュッケン 作曲

Andante ♩ = 60

mp

一ハ ハ ノ ミ テ ニ イ コ ウ チ ゴ ノ  
二つ つ が な き や い と し わ が こ

ネ ム ル オ モ ニ ホ オ ニ ム  
あ さ に ゆ う に お も い て

mf

マ ド カ ナ ー ル ツ キ ハ テ リ テ  
と わ の さ ち を ね が う こ こ ろ

mp

ア イ ノ コ コ ロ カ ー カ ヤ ク  
あ い の ま な こ み ー は は よ

注意：この曲で2拍子のリズムを、しっかりおぼえましょう。

（歌詞42ページ）

—— 創作 ——

（大 楽 節）

\*ハイドンの美しい交響曲の主題です。軽快で上品なメロディーを鑑賞しましょう。

ハイドン 作曲

全く同じである

\*上の曲を手本にして、下の曲の、空白の部分に音を加え、美しいメロディーに  
してごらん下さい。

- 注意：1. ……一段めと三段めは同じようによいでしょう。  
2. ……二段めと四段めは、少し異なっていますから、よく考えてみましょう。  
3. ……最後の音は 何で終わったらよいか わかりますね。

教師へ：二段めぐらいまでは、教師が適当なメロディーを作ってひき、聴音をかねて生徒に書きとらせ、終りの部分を創作させるのもよい。

# ぼだい樹

近藤朔風 作詞  
シューベルト 作曲

Moderato ♩ = 72

*mf* (v) *v* (v)

一 イ ズ ミ ニ ソ イ テ シ ゲ ル ボ タ イ シ ュ シ タ イ ユ キ テ ハ ウ  
ニ き ょ う も よ ぎ り ぬ く ら き さ よ な か ま や み に た ち て ま  
三 オ モ ヲ カ ス メ テ フ ク カ ゼ サ ム ク カ サ ハ ト ベ ド モ ス

*v p* (v) *f* *v p*

マ シ ユ メ ミ ツ ミ キ ニ ハ エ リ ヌ ユ カ シ コ ト バ ウ  
な こ と ず れ ば え だ は そ よ ぎ て か た る ご と し こ  
テ テ イ ソ ギ ヌ ハ ル カ サ カ リ テ タ タ ズ マ エ バ ナ

*f* (v) *pp*

レ シ カ ナ シ ニ ト イ シ ソ ノ カ ゲ ト イ シ ソ ノ カ ケ  
よ い と し と も こ こ に さ ち あ り こ こ に さ ち あ り  
オ モ キ コ ユ ル コ コ ニ サ チ ア リ コ コ ニ サ チ ア リ

Moderato (モデラート) 中ぐらいの速さ Allégro.... Moderato.... Andante  
速く 中ぐらい ゆっくり

(歌詞42ページ)

## 和音

\*T・S・Dを書き入れてごらんないさい。

\*空白の部分に和音を入れてごらんないさい。

シューベルト 作曲

T T T D T

T T T

D D

T T D T

\*上の譜を二部合唱、または、ハミング伴唱で歌ってごらんないさい。

## 創作

\*下の譜を手本にして、自由に8小節のメロディーを作ってごらんないさい。

ベートーベンのバイオリン協奏曲より

春のしらせ (44ページ)

一、深山路とおく  
みずうみの  
凍れる水は  
溶け 流れ  
おとずる春に  
せせらぐ谷間  
うぐいすつげる  
声さやか

こちよう (49ページ)

一、花のかおり ただよう  
広い野原 ひら ひら  
春のひざし ゆたかに  
舞うよ ひら ひら  
春の花を したうよ  
あわれ ちようよ こちよう

カッコウ・ワルツ (50ページ)

日本古美術に現われた楽器



一、かつこう かつこう  
しずけき森に  
かつこう かつこう  
のどかに歌う  
かつこう かつこう  
うるわし調べ  
かつこう かつこう  
しずけく ひびく  
あゝ  
春のよろこびよ  
かつこう かつこう  
その歌声は  
ああ なつかし声よ

二、かつこう かつこう三、とわにかわらずや  
緑の森に  
かつこう かつこう  
ほがらに歌う  
かつこう かつこう  
楽しい調べ  
かつこう かつこう  
よろこび歌う  
あゝ  
春のよろこびよ  
かつこう かつこう  
その歌声は  
ああ なつかし声よ

四、楽しい 調べ今  
野辺を流れゆき  
ああ  
くすし その声  
ああ  
胸をうつよ  
かつこう かつこう  
かつこう

日本古美術に現われた楽器



子守歌 (34ページ)

一、ねむれ ねむれ  
ゆら ゆら ゆら  
ねむれ ねむれ  
ゆりかごに  
快い 歌声  
ゆめみる 花園に

まごころ (38ページ)

一、母のみ手に いこう稚子の  
ねむる面に ほゝえむ  
円かなる 月は照りて  
愛の心 かがやく

ぼだい樹 (40ページ)

一、いずみにそいて 茂るぼだい樹  
したい行きては うまし夢みつ  
みきにはえりぬ ゆかしことば  
うれしかなしに といしその陰  
といしその陰

きょうもよぎりぬ 暗きさ夜中

二、きょうもよぎりぬ 暗きさ夜中  
まやみに立ちて まなことずれば  
枝はそよぎて 語るごとし  
来よ いとし友 ここに幸あり  
ここに幸あり

おもをかすめて 吹く風寒く

三、おもをかすめて 吹く風寒く  
かさはとべども 捨てていそぎぬ  
はるかさかりて たゞまえば  
なおも聞ゆる ここに幸あり  
ここに幸あり

二、ねむれ ねむれ  
ゆら ゆら ゆら  
ねむれ ねむれ  
ゆりかごに  
ばらの花 かおる園  
ほお赤く 笑みたたえ

二、つゝがなきや 愛しわが子  
朝に夕に 思いて  
とはの幸を 願う心  
愛のまなこ 御母よ



# 春のしらせ

北瀬 彰 作詞  
メーソン 作曲

なごやかに ♩ = 56

*mf*

一ミ ヤ マ ジ ト オ ク ミ ズ ウ ミ ノ 一  
ニ ま し ろ き や ま に み ど り さ し 一

*mp*

コ オ レ ル ミ ズ ハ ト ケ ナ ガ レ 一  
ね む れ る と り は と び た ち て 一

*f*

オ は る づ る ハ ル ニ セ セ ラ グ タ ニ マ  
ふ し た る く さ は も え い や ぬ 一

*mp*

ウ グ イ ス ツ ケ ル コ エ サ ヤ カ 一  
ふ し た る く さ は も え い や ぬ 一

注意：この曲で♩拍子の♪の形を、特にしっかりおぼえましょう。(歌詞43ページ)

## へ長調の和音

メロディーと和音の関係を研究しましょう。

T. S. D.

- \*指示してある空白の部分に 和音を入れてもらいなさい。
- \*今までの、和音をつけた曲をしらべてもらいなさい。そして次の点に注意してみましょう。
- ……始めと終りは 何の和音ですか？……終りの和音のすぐ前の和音は 何でしょう？

T S T D

T S T D T

T S T T T S T T D

T S T D T

\*上の譜を 二部合唱、または、ハミング伴唱で 歌ってもらいなさい。

# 春の小川

(二部輪唱)

山崎紀一郎 作詞  
作者不詳

Allegro ♩ = 120

1.

一 サラ サラ サラ サラ ナ ガ ル コ ウ オ モ ヨ ロ コ ブ オ ガ ワ  
ニ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ チ る よ き し ベ に さ き た る さ く ら  
三 ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ マ ウ ヨ カ ス メ ル ミ ソ ラ ノ コ ト リ

2.

サ ラ サ ラ サ ラ サ ラ キ ケ ヤ タ エ ナ ル ナ ガ レ ノ シ ラ ベ  
ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ は な を う か ベ て な か れ る お が わ  
ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ カ ゲ ヲ ナ ガ レ ル ミ ナ モ ニ ミ セ テ

注意：この曲はハ長調の曲です。  
23 ページを復習して、この曲全体をハ長調に移調してごらん下さい。

春の小川

一、さらさら さらさら 流る  
小魚もよろこぶ 小川

二、さらさら さらさら きけや  
たえなる流れの 調べ

三、さらさら さらさら さくら  
岸べにさきたる 花を

四、さらさら さらさら ちるよ  
ひらひら ひらひら 舞うよ

五、さらさら さらさら 小鳥  
かすめるみ空の かげを

六、さらさら さらさら 小川  
うかべて流れる 水面に 見せて

## 大楽節の作り方

今まで、いろいろメロディーを作る練習をしましたが、これは大楽節(8小節)という形式によっていました。それで、これから大楽節の作り方を研究しましょう。まず、前楽節(4小節)を作ってみます。

この前楽節に、どんな後楽節(やはり四小節)をつけたらよくつりあいがとれて、落ちついた、しかもいきいきとした曲ができるでしょうか。もちろん、幾通りもできますが、その二つだけを書いてみましょう。

A.

B.

Aの方は、前楽節にほとんどそっくりですね。前楽節からつづけて歌ってごらん下さい。おとなしい感じの曲ができました。  
Bの方は、前楽節によく似ていますが、Aとはだいぶちがいます。今度は、いきいきとした感じの曲になりました。  
では今度は、新しい前楽節を書いておきますから、後楽節をつけてごらん下さい。どんな感じの曲ができましたか？ できあがったら何度も歌ってみて、へんな所があったら、なおしましょう。

1.

2.

### 参考曲

♩ = 120

モーツァルトの交響曲より

# こ ち ょ う

野口 耽 介 作 詞  
モーツァルト 作 曲

Allegro ♩ = 132

*p*

一ハ ナノ カ オ リ タ タ ヨ ヲ ウ ヒ ロ  
ニか る い っ ば さ ヒ ラ ヒ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

イ ノ ハ ラ ヒ ラ ヒ ラ ハ ル ノ ヒ ガ シ ユ タ  
い の は ら と び ゆ く は る の ひ ざ し う ら

か ニ マ ウ ヨ ヒ ー ラ ヒ ー ラ ハ ル  
ら か と ぶ よ ヒ ー ラ ヒ ー ラ は る

ノ ハ ナ ラ シ タ ウ ヨク ア ワ レ チョウ ヨ コ チョウ  
の の は ら と び ゆ く た の し ヒ ー ラ ヒ ー ラ

Allegro (アレグロ) ……速く。 注意: ♩のリズムをしっかりとおぼえましょう。

(歌詞43ページ)

## 二部合唱の練習

練習 三度と六度による二部合唱

練習 音程とリズム

## こ ち ょ う

(二部合唱用)

# カッコウ・ワルツ

野口耽介 作詞  
ヨナソン 作曲

ワルツのテンポで ♩ = 176-184

カッコウ シ  
ニカッ コウ カッ コウ ミ

ズケキモリニ カッコウ カッコウ ノドカニウタウ カッコウ カッコウ  
どりのもりに かつこう かつこう ほがらにうたう かつこう かつ

コウ ウルワシシラベ カッコウ カッコウ シズケクヒビク  
ののしきしらべ かつこう かつこう よろこびうたう

アア ハルノヨロコビヨ カッコウ カッコウ  
あはるのよろこびよ かつこう かつこう

ソノウタゴエハ ア ア ナツカシコエヨ  
ニそのうたごえは あ あ なつかしこえよ

カッコウ カッコウ ナ ツ カ シ コ エ ヨ  
かつこう かつこう な つ か し こ え よ

\*ワルツは3拍子の踊りの曲です。軽快で、生々として、歌っていると、自然に踊りたいような気分になります。

三トの ニ ワニカワラズい ニ  
しき し ら べ

カッコウ カッコウ カッコウ カッコウ  
かつこう かつこう かつこう かつこう

ヤマの ニ タノシラベコ  
のの べをながれゆ

カッコウ カッコウ カッコウ カッコウ  
かつこう かつこう かつこう かつこう

ニ ソキ ニ

カッコウ カッコウ ア ア アワレユカシ  
かつこう かつこう ア ア くすしそーの

クモアアココロを  
こ え ア ア むねを

ウツヨカッコウカッコウカッコウ  
うつつよ かつこう かつこう かつこう

\*レコード等によって、ワルツ曲を鑑賞しましょう。3拍子の感じを、よくききわける様に、他の曲と比較してみましょう。  
(歌詞43ページ)

# 木の葉

久野静夫作詞  
ラモー作曲  
市川都志春編曲

♩ = 114  
mf

一ヒラヒラヒラキノハガヒラヒラヒラチル  
二さらさらさらきののはがさらさらさらちる

Yo Hirahira Hirahira Shibishiku Hirahira Hirahira Mawo  
Yo Hirahira Hirahira Shibishiku Hirahira Mawo

Fine

Yo Kozuo Eno Hanahana Gorinoshikiyo  
Yo Okawa Ni Ukita no shikiyo

Fine

木の葉

一 木の葉がちらちら散るよ  
二 木の葉がちらちら散るよ  
三 木の葉がちらちら散るよ

たはたの小さかなさらさら  
だの川のらなさらさら  
よのしにらさらさら  
い今夢ささらさら  
ながしくる

二  
さらさらさら  
木の葉が  
さらさら  
散るよ

一  
この身はいずこえ  
は残りの葉は  
名残りの葉は  
こずえの葉は  
ちらびらちら  
さびらきら  
ひらひらちら  
木の葉が  
ちらちら  
ひらちら

青葉の歌

一滴(した)るみどり  
青葉のいのち  
くんでもくんでも溢れる泉だ  
泉たたえて青葉が繁る  
つとめよ若さのこのひとときを

二 踊るよみどり  
青葉のもし陽あびてもあびても涯ない光だ  
光あふれて青葉は叫ぶ  
謳(うた)えよ若さのこの歓びを

三 香るよみどり  
青葉のこころ  
訪ねて訪ねてあかない臉(まは)に  
風は清(きよ)しく青葉は叫ぶ  
讚(ほ)えよ若さのこのひと時(とき)を

# 青葉の歌

(斉唱又ハ二部合唱)

野田しげみ 作詞  
高木雅老 作曲

はつらつと ♩ = 74

*mf*

一 シ タ タ ル ミ ドーリ ア オバ ノ イ ノーチ  
 二 お ど る よ み どーり あ おば の も れーび  
 三 カ オ ル ヨ ミ ドーリ ア オバ ノ コ コーロ

ク シ デ モ ク シ デ モ ア フレ ル イズミダ  
 あ び て も あ び て も は て な い ひかりだ  
 タ ズネ テ タ ズネ テ ア カ ナ イ マブ タ ニ

*cresc.*

イ ズ ミ タ タ エ テ ア オバ ガ シ ゲール  
 ひ か り あ ふ れ て あ おば は さ けーぶ  
 カ ゼ ハ ス ガ シ ク ア オバ ハ サ ケーブ

*ff* *mf*

ツ ト メ ヨ ワカサーノ コ ノヒト ト キヲ  
 う た え よ わかさーの こ のよろ こ びを  
 タ タ エ ヨ ワカサーノ コ ノヒト ス ジヲ

*f* *cresc.*

# 森の鍛冶屋

久野 静夫 作詞  
ベル ティ 作曲  
市川 都志春 編曲

Allegro

8va  
p

8va  
8va

pp

—ア ケー ホ ノー ソ メー タ ル—ミ ヤ—マ ノ—ア シ  
ニ み や—ま に—た に—ま に—こ だ—ま を—な し

pp

v pp

タ ト ク—オ キ—イ テ—タ ル—モ—リ ノ—カ ジ  
て つ ち—お と—た か—ら か—も—リ の—か じ

mf

mf

f

ヒ バ ナ チ ラ シ テ ウ チ ア ウ ツ チ ノ  
み よ や か い な に あ ふ る る ち か ら

f

ツ チ ノ シ ラ ベ ニ コ コ ロ モ カ ル ク  
お ろ す こ づ ち の し ら べ も さ や か

トン カン トン カン トン カン トン ウチナラ ス ツチノ  
 トン カン トン カン トン カン トン うちなら す つちの

*pv*

*mp*

ネ ノ オモシロ サ ヨ  
 ね の おもしろ さ よ

1. 2.

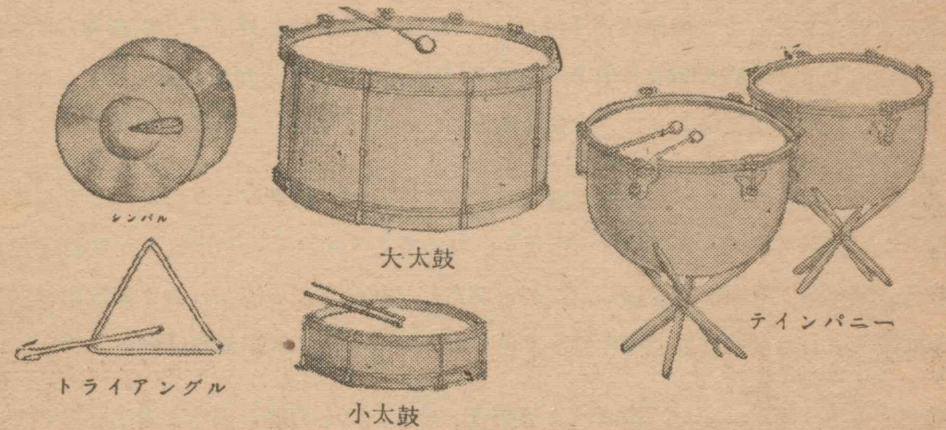
森の鍛冶屋

一 あげぼの染めたる み山のあした  
 とく起き出でたる 森のかじや  
 火花ちらして うち合うつちの  
 つちの調べに 心も軽く  
 トンカン トンカン トンカン トン  
 うち鳴らすつちの音の おもしろさよ

二 み山に 谷間に こだまをなして  
 つち音たからか 森のかじや  
 見よや かいなに あふるる力  
 おろすこづちの 調べもさやか  
 トンカン トンカン トンカン トン  
 うち鳴らすつちの音の おもしろさよ

打楽器

打楽器はどういう要素をもっていますか？リズムと音色だけでしょうか？祭の太鼓のおもしろいリズム、そして太鼓と鐘の異った音色はすぐわかりますね。洋楽器のティンパニー太鼓は表面の皮の伸縮によって 音程をかえることができます。



(音楽史3) ローマ時代の音楽

ローマ時代の金管楽器



アンプロオズ大僧正 (340-397)

グレゴリー法王 (540-604)



ギリシア人について、欧州のは権を握ったのはローマ人ですが、紀元前五百年ごろから次第に勢力を得て、紀元前27年 オーガスタス が第一代の皇帝となり、ローマ帝国を建てました。  
 楽器・ローマ人はギリシア人とちがって研究的でなく、派手好きな性質でしたので、金属性のラッパ属を好みました。暴君ネロの愛好した楽器はトランペットだったということです。しかし、この時代に新しく発明された楽器にオルガンがありますが、このことはローマ人の功績の一つとして注目されることです。



音楽とキリスト教音楽最初の間音楽にあまり関心を持っていなかったローマ人も、キリスト教への信仰は非常に深く、数世紀は迫害のために公然と行われなかったのですが、コンスタンチン大帝が信仰の自由を許し、キリスト教が国教に制定されると 非常な勢でひろまりました。

その結果讃美歌も公然と歌われるようになり、次第に新しい音楽が要求されるようになりました。この聖歌に対して大改革を施した人は、アムプロオズ大僧正 (340 - 397) でした。当時いろいろに歌われていた聖歌を四つのギリシア旋法に統一し、さらにグレゴリー法王は「グレゴリー聖歌」を制定しました。そしてこの聖歌指導のために各地に聖歌学校を建てて、教会音楽に大きな貢献をしました。しかし、その聖歌は今日みられるような、小節の区分だの、拍子などが定められているものでなく、礼拝に便利のように 自由に歌われ、一種の朗誦のような形をとっていました。

記譜法・ローマ人はギリシア人から記譜法を学びましたが、聖アマンドによって音の高低を線の上に表わすことが発明され、後にギドー僧正が、いろいろくふうした結果、ノイマ譜をととのえて、長さを表わす方法と四線譜を考案し、これを制定して教会音楽の流布に大きな役割を果たしました。千年も前の「グレゴリー聖歌」が今日まで伝わっているのも、この記譜法のおかげです。

階名唱法・ギドー僧正はまた「聖ヨハネの賛歌」の歌い出しの音が偶然に音階になっているのを見つけ、それによって音階名を制定して、唱歌教育に非常な便利と容易さをあたえました。この階名唱法は多少の改革はありましたが、千年後の現在でも最も有力な唱歌法として用いられています。このように四世紀以後のローマ時代は教会音楽と密接な関係を保ちながら非常な勢で発展しました。

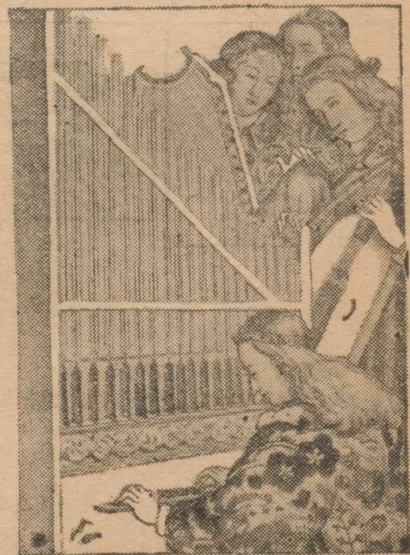
聖ヨハネの賛歌



ミンストレル



ミンネジンガー



音楽を奏する天女

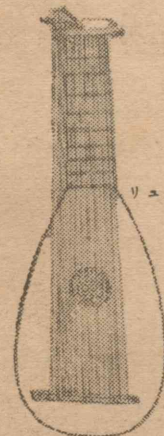
(音楽史4) 中世紀の音楽

音楽は11世紀頃までイタリアが中心であったといえますが、それ以後ネーデルランド(オランダ・ベルギー)地方へ移っていきました。

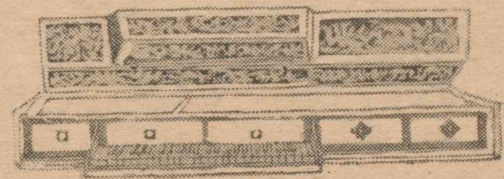
俗楽の勃興・教会音楽が、いつまでも古い形式や伝統にこだわっているのに対して、民衆は、しぜん民族舞踊や民族音楽へと心をひかれていくようになりました。12世紀から、フランスに「トルバドール」という遍歴楽人が現われました。この楽人はもと騎士出の人が多く、音楽にも文学にも高い教養をもっていて、即興的に美しい詩をたくみな音楽にのせて、各地の町から町へ遍歴して歩いたのでした。この遍歴楽人はフランスだけでなく、ドイツではミンネジンガー、イギリスではミンストレルと呼ばれていました。この人人の活躍は、12世紀から13世紀の中頃までが全盛期で、歌合戦の催しをしてその技を競ったほどでした。

楽器・これら遍歴楽人は西洋でそれまで見なかった、弓を使って奏するフィドルと呼ばれる楽器を用いました。これはもともとアラビアから伝わったものですが、現在のバイオリンの祖になったものです。この楽器は非常に愛好されたものとみえ、オルガンだけ使用されていた教会にも用いられるようになりました。

記譜法・遍歴楽人によって高められた歌い方、演奏法は、一方、記譜法にも大きな影響を与え、14世紀にランディーノはすでに五線譜を用いていますし、15世紀の楽譜には、シャープやフラットの臨時記号を発見することができます。この中世紀は各地の遍歴楽人の活躍期であり、教会音楽に対して 民衆音楽の興隆時代だといえます。



リュート



バージナル



スピネット



パレストリナ (1525 - 1594)

遍歴楽人の活躍は、各地にその地方の特色ある楽派を作りだしました。その主なものは、イギリス・イタリア・ネーデルランド(オランダ・ベルギー地方)楽派の三つでした。その中、とくにネーデルランド楽派には多くの天才が出て、他の楽派を圧していましたが、一方イタリアにもパレストリナと呼ばれる天才が出て、聖歌改革によって教会音楽に新しい路をひらき、また、音楽理論によって、作曲技法に大きな貢献をして、この時代を飾っています。

声楽の発達・これら各楽派の人人は、その土地に定住することから、教会を中心に活躍するようになりました。そして世俗的な曲の形式としてマドリガルと呼ばれる曲が生まれましたが、大部分の音楽家は宗教音楽、とくに楽器伴奏のない声楽曲を作曲したのです。この作曲法も多声部のもので対位法という作曲技法が用いられました。

楽器・一般民衆は今までの、いろいろの経験を経て、非常に音楽を愛好するようになり、楽器もまた、一般に普及するようになりました。その中で新しい形のものとしてリュートがあげられます。もう一つは現在のピアノの前身であるバージナルです。(イギリスの呼び方・イタリアでは少し大形で、スピネットと呼ばれました。)また現在のバイオリンの前身のバイオールも広く愛好され、イタリアにバイオリン製作者として有名なアマテイを出しました。彼の作になるバイオリンは名器として現在でも珍重がられています。

## 指導上の注意（第一学年）

本学年は、新制中学三箇年の最初の学年として、基礎的な練習が、小学校の課程よりも広い範囲において行われなくてはならない。

この時期の一般的な特質として、変声があり、精神的変動の時期にあり、とくに男子は変声期の為、歌唱は困難な傾向にあるが、これは器楽、鑑賞、創作、音楽史等の総合的な指導により、この時代の精神的な傾向を活用して、広い音楽的教養を高めることを主眼点とすべきである。

読譜は、ハ、ヘ、ト長調に中心をおき、その階名唱が自由になるように指導し、拍子は  $\frac{2}{4}$ ・ $\frac{3}{4}$ を中心にして、相対的に3拍子のものを聞きわけ、歌いわけの力をつけることが大切である。

声部においては、単声のものが多く取り上げられなくてはならないが、変声期にある生徒のためには、声の訓練よりも、声の協和による美しさを見出すことのできる合唱曲の方へ導くのが自然である。しかし、これはどこまでも生徒の能力を考えて無理な指導は避くべきである。女生徒においても、程度の差こそあれ、変声の轉換をするのであるから、歌いすぎないように注意しなくてはならない。

和音指導は、何よりも旋律の伴奏として聴くことを第一とし、理論的説明的な指導は慎まなくてはならない。常にメロディーと和音という生きた音楽の姿において取扱うべきである。

本学年では、ハ長調のT.S.Dの和音を聞きわけ、それを第一とし、メロディーとの関聯において自然に和音が導き出されるような指導が必要である。

また常に楽器との関聯のもとに、即ち、ピアノ、オルガン、ザイロフォン等の助けをかりて、読譜練習やリズム練習は興味深く、また他の感覚を通すことによつて、いっそう確実な理解ができるようにしなくてはならない。

創作は、理論的にではなく、具体的に、また漸進的に指導することによつて、大きな効果をもたらすものである。旋律の自然な流れを発見させること、一部形式の旋律に対する理解と創作力が、この学年で取扱われる。

音楽史は音楽的教養の資として、有史以前から古典時代までをふり当てたのであるが、歌唱教材に連絡をもつとか、歌いすぎた時とか、時宜に適した取扱いによつて平易に興味深く指導さるべきである。

伴奏は「シューベルトの子守歌」のみ原曲のままを、他は指導上適切に、そして平易に編曲してある。

生徒に歌いやすいように、楽曲のフレーズに合わせて原詞が改訂されている。

1980.12.31

≡ 教 ≡ 

27	中音	711
教藝		

 ≡ 藝 ≡

中学音楽

1

昭和25年10月17日印刷  
昭和25年10月21日発行  
昭和25年8月12日 文部省検定済

定價 ¥ 27.50

APPROVED BY MINISTRY  
OF EDUCATION  
DATE OCT. 19, 1950

著 作 者 市 川 都 志 春  
松 本 民 之 助  
石 桁 眞 禮 生  
有 賀 正 助

発 行 者 株式会社 教育藝術社  
代表者 市 川 肇  
東京都豊島区長崎1の25

印 刷 者 大日本印刷株式会社  
代表者 小 坂 孟  
東京都新宿区市谷加賀町1の12

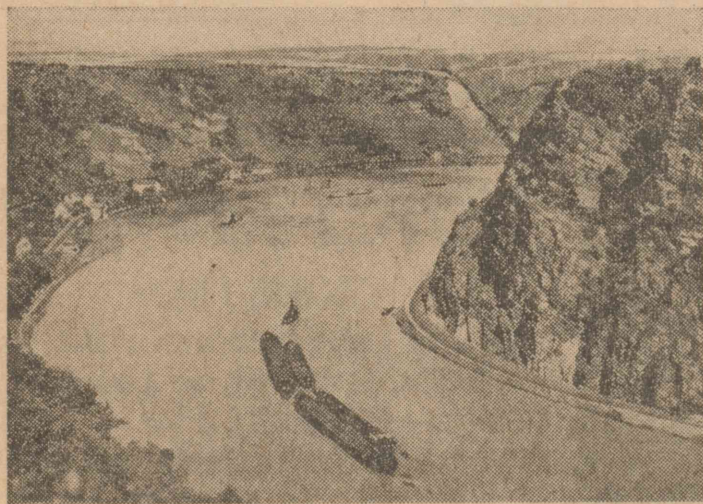
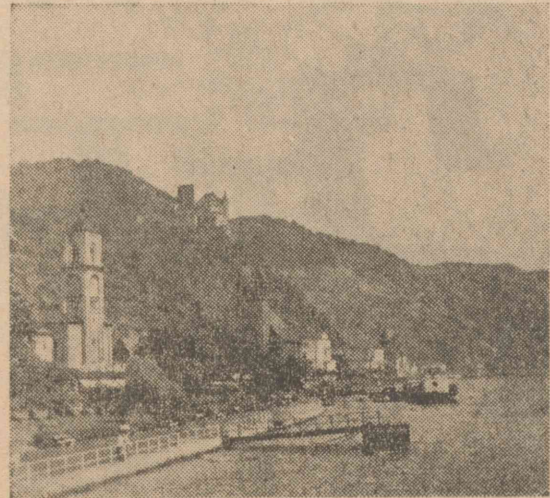
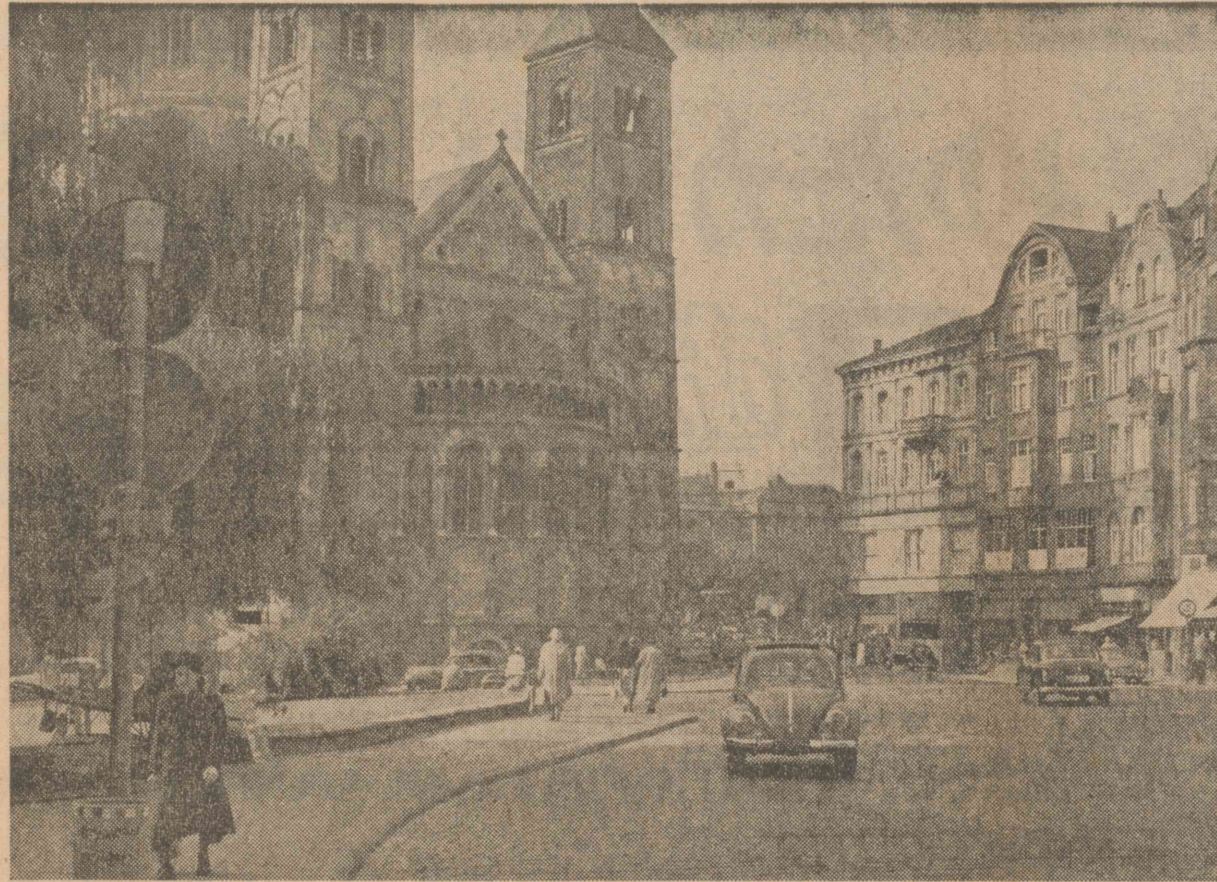
発行所 株式会社 教育藝術社  
東京都豊島区長崎1の25

広島大学図書

0130449618



# 天皇



## ドイツ連邦共和国

10月11日午  
前、最後の  
公式訪問

の首都ボンのライン空港にご到着。ハイネマン大統領ご夫妻のお出迎えを受けたあと、ボン市庁ご訪問、夕食会など。12日はライン川下りを楽しみましたあと、13日午後ボン発、アンカレジ経由、帰国の途につかれる。(写真①②はライン川。③④はボン市街。⑤⑥はローレライ美女のイメージとはにてもつかぬ高さ一三二呎の玄武岩層である)

富士 トリオ パナソニック オンキヨー 東芝 NEC サントリー 日立

# 愛の日をゆたかにいそどる ウェディングお祝いセール

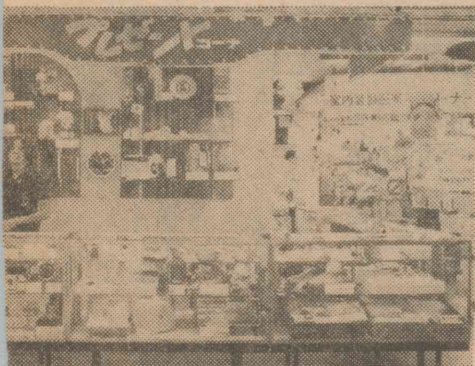
大好評実施中 → 10月3日まで



晴れのご準備においそがしいおふたり…  
 新家庭にふさわしい家電調度品は、より豊富な機種の中から、  
 おふたりのプランに合わせてお選びください。  
 第一産業では、すばらしい門出をお祝いしてセット特別価格で  
 ご奉仕しております。

## 額ぶちプレゼント

期間中、婚礼セットお求めの方にはもれなくお好みの豪華額縁(色紙または絵付き)をさしあげます。



## ギフトコーナー開設

〈広島店1階〉

ご結婚、お誕生日、そのほかお祝いの日に、贈る人のまごころをいつまでもつたえる品を集めた〈ギフトコーナー〉を新設しました。  
 贈りものをお選びのときは、第一産業ギフトコーナーをご利用ください。(土・日曜日は人形教室開講)